

地理動画⑥

東海・中央高地

静岡県

富士山

http://cgi2.nhk.or.jp/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990024_00000

三島

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09832/v0982700000000541110/>

修善寺温泉

<http://www.youtube.com/watch?v=H0aspY3hbZQ>

三保の松原

<http://www.youtube.com/watch?v=Z8LBV-e0dmA>

愛知県

トヨタ

http://www.youtube.com/watch?v=sb_6ghPD8AU

名古屋城

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09832/v0982700000000541217/>

セントレア

<http://www.youtube.com/watch?v=e9gePh0h66A>

犬山城/木曾川

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09832/v0982700000000541221/>

明治村

<http://www.youtube.com/watch?v=Eh0fJIzFfXk>

岐阜県

鶯飼い

<http://www.youtube.com/watch?v=0aMboigfTtc>

木曾路

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004080048_00000

高山

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09832/v0982700000000541103/>

白川郷

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990472_00000

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990473_00000

長野県

奈良井宿

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004030123_00000

妻籠宿

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09831/v0982700000000541212/>

松本城

http://cgi2.nhk.or.jp/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990067_00000

上高地

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990090_00000

乗鞍岳

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040045_00

[000](#)

善光寺

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00473/v09831/v0982700000000541206/>

御柱祭

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990079_00

[000](#)

安曇野わさび農園

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004080033_00

[000](#)

諏訪湖

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990116_00

[000](#)

地獄谷野猿公苑

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004500379_00

[000](#)

山梨県

北岳

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040014_00

[000](#)

富士五湖

<http://gyao.yahoo.co.jp/player/00823/v09875/v0987300000000541445/>

八ヶ岳

http://www2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040002_00

[000](#)

高田の独り言

12月の東海旅行

ある年の年末に、東海地方と中央高地をバスや電車で旅しました。とりあえずの目的は、案内士試験にでた場所や、中国・朝鮮関係の史跡を実際に視察することです。見学内容もさることながら、その時実感したのが気候の大きな違いです。

早朝五時ごろに東京を出た始発電車が東海道本線を下り、七時ごろようやく明るくなりだした熱海につきました。熱海では南京事件の総責任者が彼我の犠牲者を追悼したお寺があると聞いたので、山の中のそのお寺にお参りしました。そして熱海温泉を散策し、朝湯につかってから再び電車に乗りました。

長いトンネルをくぐりぬけて三嶋大社で知られる三島を過ぎるころ再び海が見えてきます。この海岸（田子の浦）の白砂青松をバックにした富士山は朝日に映えて美しく、何かで見たことある風景だと思ったら銭湯の壁画そっくりです。

電車をさらに乗り継ぎ、パルプ工場の煙突が見えだしたら富士市です。三大急流として知られる富士川を越えると静岡県清水区ですが、ここは「ちびまる子ちゃん」の故郷として昔から親しんできました。

この区に興津という駅があるのですが、そこから歩いて十分のところに清見寺というお寺があります。こちらは韓国語コースの方必見の場所で、江戸時代に朝鮮通信使がなんどもここで休んだとのこと。寺院内には通信使関係の資料や扁額があちこちに並んでいるうえ、庭も素晴らしいです。境内から見えるのは日本三大松

原の一つ、三保の松原の砂嘴ですが、あいにくこの方角からは漁港しか見えませんでした。



↑清見寺境内に残る朝鮮通信使の記した変額

電車は静岡駅に着きます。ここは徳川家康が幼少の頃に今川氏の人質として滞在した町でもあり、また晩年を過ごした土地でもあります。駅前や駅近くの駿府城公園には彼の銅像が立っていますし、バスで家康を祀る久能山東照宮に行っただけですが、長い坂を上っていくと日光東照宮の原形となる豪華絢爛な建築群が残っています。

静岡を後にして新幹線にのり、途中浜松の工業地帯やウナギ養殖で知られる浜名湖を通りつつ、愛知県豊橋で地元の私鉄に乗り換えます。ここら辺りから中京工業地帯で、外国人というとやたらブラジル人が目立つようになります。

この街には戦前上海に建てられていた東亜同文書院に関する資料館があります。中国語を学んで日中の懸け橋になるために国費で上海に学び、戦前から戦後の日中関係に大きな功績を残したこの書院、戦後は愛知大学と名を変えています。中国語コースの方はもしかして「愛知大学中日大辞典」を使用していませんか？非常によくできた辞書ですが、それもここ

で作られたのです。日中関係に関心のある方はぜひとも訪れてください。

最後に濃尾平野を駆け抜ける新幹線が名古屋につき、夕方ぎりぎりの時間でしたが、なんとかタクシーで名古屋城に入ることができました。「尾張名古屋は城で持つ」と言われるほど、金の鯨鯨は名古屋のシンボルです。残念ながら天守は1945年米軍の空襲に遭い、焼かれてしまい、今見られるものは戦後に復興されたものです。日本中の城を歩き回った私ですが、空襲被害についてきちんとコーナーを設けて説明している城は少ないようです。炎に包まれる名古屋城の写真や、びりびりに破れた城内のふすまが痛々しいことこの上ありません。



↑炎に包まれる名古屋城天守

見学が終わったら、駅近くの店でいただいたのがひつまぶしです。うな丼をしゃもじで四等分し、始めはそのまま四分の一いただき、次はお茶漬けとして、次はだし汁をかけて、そして最後に最もおいしかった食べ方でいただくのが初心者の王道です。

一日でここまでこられました。12月末にしては日中晴れて暖かったです。冬に温暖な太平洋側の気候を実感しました。

12月の中央高地旅行

別の年の年末には観光バスにのって中央高地を旅しました。東京を出た観光バスは中央自動車道を通って八王子から神奈川県に入り、相模湖が見えてきます。今は平和なこの湖も、戦時中の電力不足供給のために住民の立ち退きと日本人及び朝鮮人、中国人労働者を徴用して建設した人造湖です。

湖を過ぎるとすぐに山梨県です。秩父多摩甲斐国立公園の山なみをぬけると、前方には南アルプスの山々が、南側には富士山が姿を現しました。甲府盆地に入ったのです。バスから眺めるこれらの山々を、私は一つ一つ地図帳を見ながらチェックします。そして日本で二番目に高い北岳を確認しました。

バスは北西に進路を変え、扇状地の中をすすみます。途中北杜市というところを過ぎるのですが、北に八ヶ岳をのぞむこの村は植民地時代の朝鮮で朝鮮服を着て朝鮮語を話し、朝鮮の文物を愛し、朝鮮の陶芸の素晴らしさを日本に伝えた浅川兄弟の資料館もありますので、韓国語コースの方はぜひともご覧になってください。ちなみに2012年には彼をテーマとした映画「道-白磁の人」が上映されましたので、ご関心のある方はぜひご覧ください。

八ヶ岳の南西を進むと、見えてくるのが諏訪湖です。出雲族の私にとって、この諏訪という地は特別な思いがあります。と言いますのも、古事記によると以前日本の地を統治していた出雲族が、統治権を高天原の神に譲るように言われ、相撲

によって統治権を決することになったそうです。結局は出雲代表の神、タケミナカタが高天原代表の神、タケミカツチに追いつめられ、諏訪の地まで来て降参し、以降この地を離れないと約束させられたという伝説を、私は小学校のころから聞かされていました。そしてその「軟禁」させられた神社が諏訪神社で、冬の御神渡りや7年に1度の御柱祭など、神々とともに生きる人たちのライフスタイルを見聞きするにつれ、まるで遠い親せきにでもあったかのような気がするのです。ただ、最近は暖冬のため、二年位一度くらいしか湖面が凍らないとのことですが、やはり外に出ると湖面を吹く風は冷たく、晴れている割にはぞくっとするほどです。

さらに北上すると目の前に北アルプスの山々が見えてきます。松本盆地では信州随一の城下町、松本城が、その優美な姿を水に映しています。中国語クラスの方ならご存知だと思いますが、清朝復活を夢見て日本と手を組み、ラスト・エンペラー溥儀の手をひいて満州国をつくりあげた女スパイ、川島芳子は、少女時代をこの町で過ごしました。市内の松本市歴史の里では、川島芳子記念室もあります。



↑松本市川島芳子記念室

バスは松本市で高速道路を下りて梓川沿いに西の乗鞍岳に向かって走ります。

ここで初めて 3000m級の山脈を越えます。松本市までは平地に雪等ありませんでしたが、さすがに北アルプスに足を踏み込むと一面の白銀の世界です。そこに日の光が反射して、雪の妖精のようにキラキラ輝き、まるで童話の世界のようです。このときほど日本「アルプス」であることを実感したことはありません。

乗鞍岳の峠を下ろうとしたら急に雪が激しく降り、さきほどまでのメルヘンなムードから、「雪女」を思わせるような雰囲気になり、周りは何も見えなくなりました。ずっと地図帳と外を照らし合わせながらここまで来ましたが、うかつにもしばらくうとうとしてしまいました。気がついたら飛騨の小京都、高山までついていました。先ほどまでの雪はやみ、高山市内はほとんど雪が積もっていません。しかし寒さは相当なもので、震えながらこの古い街並みの連なるこの町を歩きました。

バスはさらに山の中を目指し、再び雪に覆われた山や村を通りぬけると、ついにテレビなどで何度も見てきた合掌造が見えました。世界遺産白川郷です。深い雪の中にそびえる三階建の巨大な建物が連なるのをみた時は、中国奥地の少数民族村にでも行ったかのような錯覚さえしました。村の中を流れる庄川にかかる吊り橋を歩くとき、非常に風が強く吹き、悲鳴をあげる人さえいました。家の中に入ると、どこの家でも巨大な浄土真宗の仏壇や囲炉裏があり、そこでお茶を飲みながら地元ガイドの話が聞けます。なお、どの家でも自由に入れるのではなく、今も普通に住民が住んでいるので注意が必

要です。バスはそのまま北の金沢に向かいました。

これらの旅を通し、同じ時期でありながら東海側と中央高地は非常に異なる気候であることを実感しました。ちなみに私が年末によく国内旅行をする理由は、出雲の実家に帰るついでに日本各地を周るためなのです。そして地図帳を片手に教科書にでることや中国・朝鮮との関連深い場所を訪れるのが何よりもの楽しみです。年末や盆に帰省される方はぜひともこのような寄り道によって地理学習を深められんことをお勧めします。